

製品名: ULBP1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82328**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	ULBP1
別名	N2DL-1; RAET1I; NKG2DL1
遺伝子 ID	80329.0
SwissProt ID	Q9BZM6
免疫原	大腸菌で発現したヒト ULBP1 (AA: 26-216) の精製された組み換え断片。

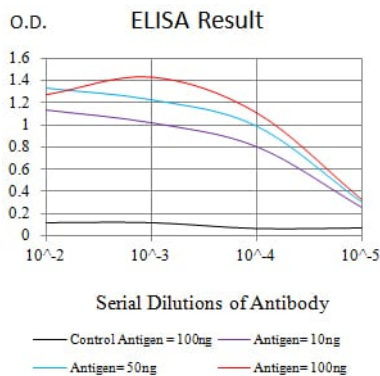
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、NK細胞およびT細胞上の免疫系活性化受容体であるナチュラルキラーグループ 2 メンバー D (NKG2D) のリガンドです。コードされているリガンドが NKG2D に結合すると、JAK2、STAT5、ERK、PI3K キナーゼ/

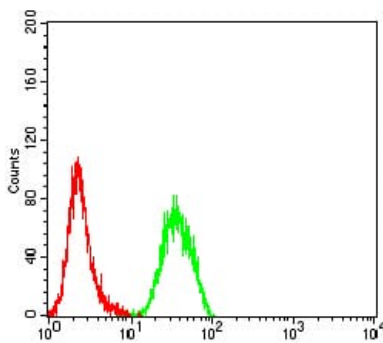
Akt など、複数のシグナル伝達経路が活性化されます。また、サイトメガロウイルス感染細胞では、このリガンドは UL16 糖タンパク質に結合し、免疫系の活性化を阻害します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]

研究分野

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



ULBP1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。